

【既定】	防災まちづくり	予算額	295,305 千円
------	---------	-----	------------

## 事業の目的・概要

首都直下地震等の発生に備え、火災による延焼被害の拡大が懸念される木造住宅密集地域を中心に、建築物の不燃化建替え支援を進めるとともに、不燃化特区内においては、空地の確保や道路拡幅整備の強化を図るなど、不燃化をより一層促進します。

また、災害時に震災救援所として機能する区立小・中学校等周辺や緊急道路障害物除去路線等沿道建築物の不燃化建替えを促進するほか、不燃化の取組の普及・啓発活動を推進します。

## 主な取組内容

### ➤ (仮称) 不燃化会議の開催 **新規**

木造住宅密集地域等の解消に向けた取組として、令和 7 年度末に終期を迎える震災救援所周辺等の不燃化助成については、引き続き制度の周知・利用促進を図りつつ、令和 8 年度以降の施策の立案に向けて、区民との対話を通じてニーズや意見を聴取するため、(仮称) 不燃化会議を開催します。

### ➤ 防災まちづくりの取組

平成 21 年に防災まちづくり計画を策定した阿佐谷南・高円寺南地区では、地元住民との対話を重ねながら、馬橋通りの拡幅整備や空地の確保に努めています。

方南一丁目地区では、令和 6 年に策定した防災まちづくり計画を着実に進めるため、道路整備や空地の確保のための補助事業導入を目指すとともに、まちづくりルールの検討を計画的に進めるなど、木造住宅密集地域等の解消に向けて取り組みます。

また、木造住宅密集地域における空地の避難上の有効性を検証し、区民にわかりやすく示すため、国土交通省が主導する 3D 都市モデル (PLATEAU) ※を活用し、VR を用いた避難体験シミュレーションを実施します。



方南一丁目地区防災まちづくり計画  
(令和 6 年 7 月策定)



3D都市モデル(PLATEAU)

※ PLATEAU…日本全国の都市を 3D モデル化し、誰もが使えるようオープンデータ化する国土交通省のプロジェクト。まちを 3D 都市モデルとして整備することで、まちづくりの DX を実現し、地域課題を解決することを目指している。